

令和元年度

山 形 大 学 大 学 院

**理工学研究科博士前期課程
学生募集要項（工学系）**

**有機材料システム研究科
博士前期課程学生募集要項**

【10月入学】

令和元年5月

**山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科**

★外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）及び有機材料システム研究科博士前期課程では、以下のとおり推薦入試及び第1回入試の一般入試（ものづくり技術経営学専攻を除く。）において外部テスト（TOEIC 又は TOEFL）の成績を利用します。

出願時に、外部テスト（TOEIC 又は TOEFL）の成績書等を提出いただきますので、御準備されますようお願いいたします。

○外部テスト（TOEIC 又は TOEFL）を利用する試験

☆一般入試

※理工学研究科博士前期課程（工学系）ものづくり技術経営学専攻を除く。

○対象となる成績書等

外部テスト	テスト名称	備考
TOEIC®TEST	TOEIC® LISTENING AND READING TEST（公開）	・成績書（あるいはスコアレポート）を，入学願書と一緒に提出してください。
	TOEIC® LISTENING AND READING TEST IP（Institutional Program）	
TOEFL®TEST	TOEFL iBT®TEST	<Examinee Score Report を提出する場合> 入学願書と一緒に提出してください。 <Official Score Report を提出する場合> 出願締切日まで山形大学工学部入試担当まで届くよう手続きを行ってください。 届かない場合，出願を受理しません。
	TOEFL ITP®TEST	・スコアレポートを入学願書と一緒に提出してください。
	TOEFL®TEST PBT（ペーパー版）	

○注意事項

- ① 平成 29 年 4 月 1 日以降に受験した成績書等が有効です。
- ② 必ず原本を提出してください。コピーは受け付けません。
- ③ 複数回受験している場合，一番高得点の成績書等を提出してください。

TOEIC, TOEFL, TOEFL iBT 及び TOEFL ITP はエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。

目 次

アドミッション・ポリシー	1
1 入学者の選抜種別	3
2 募集人員（一般入試，社会人入試，外国人留学生入試）	3
3 日程	3
4 出願資格	4
5 入学資格審査について	6
6 出願期間	6
7 出願手続	7
8 入学者選抜方法	10
9 試験場	16
10 受験者心得	16
11 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	16
12 合格者の発表	17
13 入学手続	17
14 授業料	17
15 その他	17
16 教育方法の特例措置について	18
17 長期履修学生制度について	18
18 教育訓練給付制度について	18
19 研究科の概要	19

★お問合せ先

山形大学工学部入試担当

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目 3-16

電話 (0238) 26-3013

アドミッション・ポリシー

理工学研究科（工学系）

理工学研究科（工学系）は、博士前期課程（Master's Program）の物質化学工学専攻、バイオ化学工学専攻、応用生命システム工学専攻、情報科学専攻、電気電子工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の7専攻（入学定員 211 人）と博士後期課程（Doctor's Program）の物質化学工学専攻、バイオ工学専攻、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の5専攻（入学定員 16 人）からなります。

博士前期課程では、21 世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に修士（工学）教育を充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる幅広い視野と精深な学識を養い、専攻する分野における優れた専門性と研究・開発能力を備えた人材を輩出しています。

博士後期課程では、グローバル化の進む中、それぞれの専攻分野において基礎となる豊かな学識と高度な研究能力を養う博士（工学、学術）教育を推進して卓越した専門性と自立した研究者、教育者として世界に通用する人材を輩出しています。

博士前期課程

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎知識を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 他への思いやりの心、協調性と高い倫理観

博士後期課程

◆求める学生像

博士後期課程では、上記に加えて以下を持つ人材を口述試験により選抜します。

- 専門分野を含む幅広い分野に対する深い関心と応用力
- グローバルな視野と世界で活躍する研究者・技術者を目指す意欲

有機材料システム研究科

有機材料システム研究科は、有機材料システム分野における学生の探求心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を育成する理念のもと、基礎知識を展開して高度な専門課題にも問題解決能力を有する技術者・研究者・教育者の養成、さらに、人として高い倫理観を持った技術者・研究者・教育者の養成を目標としています。有機材料システム研究科では、有機材料の基礎から応用に至る知識を単に修得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とします。

また、有機材料システム研究科の求める学生像は以下のとおりです。

博士前期課程

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接により選抜します。

- 有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行出来る人、他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

博士後期課程

◆求める学生像

博士後期課程では、上記に加えて以下を持つ人材を口述試験及び面接により選抜します。

- 専門分野以外に対しても深い関心を持ち、広い応用力を有する人
- グローバルな視野に立ち、世界で活躍する技術者・研究者・教育者を目指す人

1 入学者の選抜種別

理工学研究科及び有機材料システム研究科は、博士課程の前期課程と後期課程からなり、この募集要項のうち、理工学研究科については博士前期課程【10月入学】の工学系についてのものです。入学者の選抜は「一般入試」、「社会人入試」及び「外国人留学生入試」の方法で行います。なお、理工学研究科博士前期課程（理学系）各専攻の学生募集については、別に募集要項を作成し公表しておりますので、ご注意ください。

2 募集人員（一般入試，社会人入試，外国人留学生入試）

理工学研究科（工学系）

専攻名	募集人員		
	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
物質化学工学専攻	若干人	若干人	若干人
バイオ化学工学専攻	若干人	若干人	若干人
応用生命システム工学専攻	若干人	若干人	若干人
情報科学専攻	若干人	若干人	若干人
電気電子工学専攻	若干人	若干人	若干人
機械システム工学専攻	若干人	若干人	若干人
ものづくり技術経営学専攻	若干人	若干人	※

※ ものづくり技術経営学専攻の外国人留学生入試は、本要項とは別に募集要項を作成し入学者選抜を行いました。

有機材料システム研究科

専攻名	募集人員		
	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
有機材料システム専攻	若干人	若干人	若干人

（注）募集人員については、一般入試，社会人入試，外国人留学生入試のすべての入試において、それぞれ若干人を募集します。

3 日程

理工学研究科（工学系）

有機材料システム研究科

項目等		月 日
入学資格審査書類提出期間		令和元年6月17日（月）～6月21日（金）（必着）
入学資格審査結果の通知期日		令和元年6月28日（金）
一般入試	出願期間	令和元年7月17日（水）～7月23日（火）（必着）
社会人入試	試験日	令和元年8月20日（火），8月21日（水）
外国人留学生入試	合格者発表	令和元年8月29日（木）11時（予定）

4 出願資格

理工学研究科（工学系）

有機材料システム研究科

（１）一般入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和元年９月までに該当する見込みの者としてします。

- ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑨ 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑪ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑫ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

（２）社会人入試

本入試は、各種の研究機関、教育機関又は企業等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として両研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。

各種研究機関、教育機関又は企業等に令和元年10月1日現在で1年以上勤務経験のある技術者又は研究者で次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑪ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑫ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

（3）外国人留学生入試

（ものづくり技術経営学専攻は、本要項とは別に募集要項を作成し、入学者選抜を行いました。）

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者又は令和元年9月までに該当する見込みの者とします。

ただし、日本の国籍を有しない者でも、日本の大学を卒業した者（令和元年9月卒業見込みの者を含む。）は、外国人留学生入試の対象とはなりません。

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ④ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑥ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

（注）講義は、主として日本語で行われます。

5 入学資格審査について

理工学研究科（工学系） 有機材料システム研究科

出願資格（１）一般入試の⑨、⑩、⑪、⑫、（２）社会人入試の⑨、⑩、⑪、⑫及び（３）外国人留学生入試の⑤、⑥、⑦のいずれかにより志願しようとする者については、事前に書類による個別の入学資格審査を行います。下記の【入学資格審査書類】を一括し、所定の期日までに、山形大学工学部入試担当に提出してください。

ただし、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学を令和元年 9 月卒業見込みの者については、入学資格審査は必要ありません。

【入学資格審査書類】

- ・ 入学資格審査願（本要項に添付の用紙）
- ・ 最終卒業学校分の卒業証明書（原本）
- ・ 最終卒業学校分の成績証明書（学校長が作成し、厳封したもの）
- ・ 入学試験出願資格認定審査調書（本要項に添付の用紙）
- ・ 返信用封筒（市販の封筒（長形 3 号・23.5cm×12cm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、82 円分の切手をはったもの）
- ・ 論文別刷等（研究業績等がある者のみ）

なお、外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合には、和訳又は英訳を添付してください。

入学資格審査書類提出先

山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目 3-16

「入学資格審査願」及び「入学試験出願資格認定審査調書」は、山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>）「大学院受験生の方」内の「各種募集要項」からダウンロードし、A4 版白紙に片面で印刷の上、記入及び提出してください。

【注意事項】出願資格（１）一般入試の⑨、⑩、⑪、⑫、（２）社会人入試の⑨、⑩、⑪、⑫及び（３）外国人留学生入試の⑤、⑥、⑦について

高等専門学校、短期大学、専修学校、各種学校、外国大学日本分校（出願資格（１）の⑤、（２）の⑤、（３）の③を除く。）、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者が入学を志願しようとする場合、本研究科において事前に個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者については、本研究科に出願することができます。

なお、同資格審査は、過去に本研究科が交付した「入学試験に係る入学資格の認定通知書」をもって代えることができます。

入学資格審査により出願する場合は、当該通知書の写しを出願書類に添付してください。

入学資格審査書類提出期間	審査結果の通知期日
令和元年 6 月 17 日（月）～6 月 21 日（金）（必着）	令和元年 6 月 28 日（金）

6 出願期間

理工学研究科（工学系） 有機材料システム研究科

出 願 期 間
令和元年 7 月 17 日（水）～7 月 23 日（火）（必着）

出願受付は、土・日曜日を除きます。

受付時間は、9 時から 16 時 30 分までとします。

出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、郵送する場合は郵送に要する日数等を十分考慮の上、送付してください（郵送の場合も上記の期限までに**必着**とします。）。

7 出願手続

理工学研究科（工学系）

有機材料システム研究科

（1）出願書類等

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	○ 本要項に添付の所定の用紙に、必要事項を記入してください。 ○ 外国人留学生入試志願者は、氏名を漢字若しくはローマ字（パスポートと同一のもの）で記入してください。 ○ 「保護者の住所・氏名」は、社会人入試志願者は記入不要です。外国人留学生入試志願者は、母国の住所を記入してください。 ○ 「履歴」は、大学入学時から記入してください。ただし、外国人留学生入試志願者は、小学校入学時から記入してください。 ○ 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。 ○ 希望指導教員名欄の記入に当たっては、山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ (https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/) 「大学院受験生の方」内の「博士前期課程担当教員表」を参照してください。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成した原本とします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、和訳又は英訳を添付してください。
成 績 証 明 書	○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成し、厳封された原本とします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、和訳又は英訳を添付してください。
外 部 テ ス ト の 成 績 書 等	○ 一般入試（ものづくり技術経営学専攻を除く。）に出願する者は、次の1）～4）のうち、いずれかを提出してください（コピーは不可）。 1）TOEIC®TEST の成績証明書（あるいはスコアレポート） 2）TOEFL iBT®TEST の Examinee Score Report 3）TOEFL iBT®TEST の Official Score Report 4）TOEFL ITP®TEST 又は TOEFL®TEST PBT のスコアレポート ※ 入学願書提出時にやむを得ず成績証明書等が間に合わない場合は、提出できない理由書（様式任意）を出願書類とともに提出し、8月1日（木）までに成績証明書等を山形大学工学部入試担当へ持参してください。8月1日（木）までに提出できない場合は、選抜の対象とはなりませんので注意してください（その際、検定料は返還しません）。 - また、入学願書提出時に成績証明書等を提出済みの場合でも8月1日（木）までは、より高得点の成績証明書等に変更することが可能です。 ○ 詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。
学士の学位授与 （申請）証明書	○ 出願資格（1）の②、（2）の②資格で出願する者及び外国の大学又は学校の出身者で学士の学位（学士の学位に相当する学位を含む。）を有する者が提出してください。 ○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成した原本とします。 ○ 出願資格（1）の②、（2）の②の資格で出願する者が提出する証明書については、大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は「大学改革支援・学位授与機構に学位授与の申請（予定）をしている」旨を明記した証明書（様式任意）で、出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成したものとしてします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、和訳又は英訳を添付してください。

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
研究（希望） 計 画 書	○ 社会人入試に出願する者が提出してください。 本要項に添付の所定の用紙に、博士前期課程で学習したい研究課題（又は研究分野）及び研究計画の概要を 1,000 字以内にまとめて記入してください。
職 務 経 歴 書	○ 社会人入試に出願する者が提出してください。 本要項に添付の所定の用紙に、研究・業務歴及び研究業績を記入してください。研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合は、その業績を表す文書等の写しを添付してください。
検定料を振り込んだことが分かる書類の写し	○ 検定料 30,000 円 ただし、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料を納付する必要はありませんので、国費外国人留学生奨学金の受給決定者であることを確認できる書類の写しを添付してください。 1 払込期間 令和元年 7 月 10 日（水）～ 7 月 23 日（火）まで 2 払込方法 (1) 以下の振込先に金融機関窓口又は A T M から振り込んでください。 金融機関窓口からは「電信扱」で振り込んでください。 (2) 振込の際、ご依頼人名・振込人名等には、必ず数字の「 2 5 1 」（理工学研究科（工学系）に出願の場合）若しくは「 2 5 3 」（有機材料システム研究科に出願の場合）と記入した後に出願者本人の氏名を記入してください（この数字は本学で振込人の志願専攻等を識別するためのものです）。 (3) 振込手数料は各自で負担してください。 3 振込先 【金融機関名】山形銀行 【支店名】本店営業部 【預金種別】普通口座 【口座番号】5 9 3 5 8 【口座名義（カナ名義）】ヤマガタダイガク 【口座名義】国立大学法人山形大学 学長 小山清人 4 振込内容が分かる振込控え（「ご利用明細」など）の写しを提出してください。 振込控えに預金残高など出願に関係のない個人情報が入印されている場合は、「振込日時」「振込先」「振込人氏名」「振込金額」以外は塗りつぶしてもかまいません。 振込控えに「振込予約日」が記載されている場合は、「振込予約日」を塗りつぶさないでください。 モバイルバンキングなど、振込控えが出ない方法では振り込まないでください。 5 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。） (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 (3) 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合 6 返還手続 検定料の返還を希望する場合は、下記 URL から「検定料返還申出書」をダウンロードし、必要事項を記入及び必要書類を添付の上、令和 2 年 3 月 31 日（火）までに出願書類提出先まで送付してください。 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/ ※返還請求についてのお問合せ先：山形大学工学部入試担当 (電話 0238) 26-3013)
返 信 用 封 筒	○ 市販の封筒（長形 3 号・23.5 cm×12 cm）に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、82 円分の切手をはって提出してください。
ラ ベ ル 票	○ 本要項に添付の所定の用紙に、志願者が確実に合格通知等を受け取ることができる住所等を記入してください。

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
そ の 他	○ 外国人で、住民登録をしている方は、住民票の写しを提出してください。 ○ 住民登録をしていない方は、パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうちいずれか1つを提出してください。

(注) 出願資格(1)の⑨、⑩、⑪、⑫、(2)の⑨、⑩、⑪、⑫及び(3)の⑤、⑥、⑦のいずれかにより入学資格審査を受けた場合、卒業証明書及び成績証明書の提出は必要ありません。代わりに、「入学試験に係る入学資格の認定通知書」の写しを提出してください。

(2) 出願に当たっての留意事項

- ① 入学願書等の出願書類は、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) 「大学院受験生の方」内の「各種募集要項」からダウンロードし、**A4版白紙に片面で印刷**の上、記入してください。
- ② 入学志願者は、出願書類を一括し、所定の期日までに下記の出願書類提出先に提出してください。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「**大学院理工学研究科博士前期課程（工学系・10月入学）入学願書在中**」または「**大学院有機材料システム研究科博士前期課程（10月入学）入学願書在中**」と朱書きしてください。

出願書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

8 入学者選抜方法

(1) 一般入試

① 入学者の選抜は、各専攻の指定する学力検査等及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して行います。

② 学力検査等及び試験日時

※ 試験開始時刻の30分前までに試験場に到着してください。

理工学研究科（工学系）

【物質化学工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（＊1）
令和元年8月20日（火）	10：00～12：00	基礎科目（＊2）	数学 物理化学
	13：30～15：30	専門科目（＊2）	有機化学 無機・分析化学 化学工学 （3科目から1科目選択）
令和元年8月21日（水）	9：00～	面接及び口頭試問（＊3）	

（注）試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

＊1 外部テストについて

詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。

＊2 基礎科目及び専門科目の出題範囲は次のとおりです。

	科目名	出題範囲
基礎科目	数学	微分積分（1変数，多変数），常微分方程式
	物理化学	化学熱力学の基礎（エンタルピー，エントロピー，自由エネルギー，化学平衡，相平衡），気体と固体ならびに液体の性質と構造及び状態変化
専門科目	有機化学	結合と異性，立体化学，アルカン，シクロアルカン，アルケン，アルキン，有機ハロゲン化合物，芳香族化合物，アルコール，フェノール，エーテル，アルデヒド，ケトン，カルボン酸誘導体，アミン，複素環化合物
	無機・分析化学	原子の構造と電子配置，元素の周期性，化学結合，酸と塩基，典型元素の単体と化合物，遷移金属錯体（構造，異性体，高スピンと低スピン，色，磁性，反応，有機金属錯体），定量分析の基礎（溶液の調製，酸塩基反応，錯体形成反応，沈殿反応，酸化還元反応）
	化学工学	流れ系の物質収支，流れの基礎，ベルヌーイの式の応用，一次元定常熱移動，熱伝達の基礎，拡散による物質移動，Fickの法則の応用，反応速度式の導出と応用，回分反応器と流通反応器の設計

＊3 面接及び口頭試問は，1人5分程度行います。

【バイオ化学工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（＊１）
令和元年 8 月 20 日（火）	13:30～16:30	専門科目（＊２）	生物科学・生化学 有機化学 無機化学・分析化学 物理化学 （４科目から２科目選択）
令和元年 8 月 21 日（水）	9：00～	面接及び口頭試問（＊３）	

（注）試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

＊１ 外部テストについて

詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。

＊２ 専門科目の出題範囲は次のとおりです。

専門科目名	出題範囲
生物科学・生化学	＜生物科学＞細胞の構造と機能，代謝とエネルギー生産，細胞間相互作用，タンパク質の構造と機能，膜の構造と機能，神経と筋，細胞の情報伝達，心臓 ＜生化学＞糖質，脂質，アミノ酸・ペプチド・タンパク質，酵素，核酸，生理活性物質，糖質の代謝，クエン酸回路，電子伝達系と酸化的リン酸化，脂質の代謝，窒素代謝：合成，窒素代謝：分解
有機化学	結合と異性，立体化学，アルカン，シクロアルカン，アルケン，アルキン，有機ハロゲン化合物，芳香族化合物，アルコール，フェノール，エーテル，アルデヒド，ケトン，カルボン酸誘導体，アミン
無機化学・分析化学	＜無機化学＞原子の構造と電子配置，元素の周期性，化学結合，酸と塩基，酸化と還元，典型元素の単体と化合物，遷移金属錯体（構造，異性体，高スピンと低スピン，色，磁性，反応，有機金属錯体） ＜分析化学＞定量分析の基礎（溶液調製，酸塩基反応，錯形成反応，沈殿反応，酸化還元反応）
物理化学	化学熱力学の基礎（内部エネルギー，エンタルピー，エントロピー，ギブスエネルギー，化学平衡，相平衡），気体と固体ならびに液体の性質と構造及び状態変化，反応速度論

＊３ 面接及び口頭試問は，１人 10 分程度行います。

【応用生命システム工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（＊１）
令和元年 8 月 20 日（火）	10：00～11：30	基礎科目	数学（微分積分，微分方程式，線形代数，フーリエ級数，フーリエ変換，ラプラス変換，確率統計）
	13：30～	面接及び口頭試問（＊２）	

（注）電卓の使用は禁じます。

＊１ 外部テストについて

詳しくは，表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。

＊２ 面接及び口頭試問は，専門科目・卒業研究内容について 1 人 15 分程度行います。

なお，卒業研究内容の説明にコンピュータの使用が可能です。

詳しくは，本専攻のホームページ(<http://www.eie.yz.yamagata-u.ac.jp/s/>)をあらかじめご確認ください。

【情報科学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（＊１）
令和元年 8 月 20 日（火）	10：00～11：30	基礎科目	数学（微分積分，線形代数）
	13：30～	面接及び口頭試問（＊２）	

（注）電卓の使用は禁じます。

＊１ 外部テストについて

詳しくは，表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。

＊２ 面接及び口頭試問は，専門科目・卒業研究内容について 1 人 20 分程度行います。

なお，卒業研究内容の説明にコンピュータの使用が可能です。

詳しくは，本専攻のホームページ(https://infoele.yz.yamagata-u.ac.jp/info/examination/h32_1_in/)をあらかじめご確認ください。

【電気電子工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（＊１）
令和元年 8 月 20 日（火）	10：00～11：30	基礎科目	数学（微分積分，微分方程式，線形代数，複素関数，フーリエ変換，ラプラス変換，ベクトル解析）
	13：30～16：30	専門科目	電磁気学 電子物性と量子物理 電気回路と電子回路
令和元年 8 月 21 日（水）	9：00～	面接及び口頭試問（＊２）	

（注）試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

＊１ 外部テストについて

詳しくは，表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。

＊２ 面接及び口頭試問は，１人 10 分程度行います。

【機械システム工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（＊１）
令和元年 8 月 20 日（火）	10：00～11：30	基礎科目	数学（微分積分，微分方程式，ベクトル解析，線形代数，フーリエ級数，フーリエ変換，ラプラス変換，複素関数）
	13：30～16：30	専門科目（＊２）	材料力学 熱と流体の力学 運動と力学
令和元年 8 月 21 日（水）	9：00～	面接及び口頭試問（＊３）	

（注）電卓の使用は禁じます。

＊１ 外部テストについて

詳しくは，表紙の裏の「外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について」をご確認ください。

＊２ 専門科目の出題範囲は次のとおりです。

専門科目名	出題範囲
材料力学	材料の基本的力学特性(弾性，塑性，破断)，引張とせん断の変形と応力，はりの静定・不静定曲げ問題
熱と流体の力学	エネルギー保存則，状態量と状態変化，質量と運動量の保存，流体の回転と渦，管内の流れ
運動と力学	静力学，運動の法則，自由振動，質点系の力学，剛体の力学

＊３ 面接及び口頭試問は，１人 5 分程度行います。

【ものづくり技術経営学専攻】

試験日	試験時間	試験科目
令和元年 8 月 20 日 (火)	9 : 00～	面接及び口頭試問 (＊)

＊ 面接及び口頭試問は，1 人 20 分程度行います。

有機材料システム研究科

【有機材料システム専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語 (外部テスト) (＊ 1)
令和元年 8 月 20 日 (火)	10 : 00～11 : 30	基礎科目 (＊ 2)	数学 有機化学 物理化学 (3 科目から 2 科目選択)
	13 : 30～16 : 30	専門科目 (＊ 2)	高分子科学 (＊ 3)
令和元年 8 月 21 日 (水)	9 : 00～	面接及び口頭試問 (＊ 4)	

(注) 試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

＊ 1 外部テストについて

詳しくは，表紙の裏の「外部テスト (TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST) の利用について」をご確認ください。

＊ 2 基礎科目及び専門科目の出題範囲は次のとおりです。

	科目名	出題範囲
基礎科目	数学	微分積分，微分方程式，線形代数，フーリエ解析
	有機化学	構造と結合，酸と塩基，立体化学，有機化合物の合成と反応
	物理化学	熱力学第一・第二法則，気体・溶液の性質，相平衡・化学平衡，反応速度，量子論，原子・分子・固体の電子構造，分子間力，電子遷移
専門科目	高分子科学	高分子合成，高分子溶液，固体構造，高分子物性

＊ 3 専門科目の試験は，口頭試問で行います。

＊ 4 面接及び口頭試問は，1 人 15 分程度行います。

(2) 社会人入試

① 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。

② 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科（工学系） 有機材料システム研究科

【全専攻共通】

試験日	試験時間	試験科目
令和元年 8 月 20 日（火）	13：30～	面接及び口頭試問（＊）

＊ 電気電子工学専攻の面接及び口頭試問は 1 人 60 分程度、それ以外の専攻の面接及び口頭試問は 1 人 20 分程度行います。

＊ 試験の内容、持参品等については、各専攻にお問合せください。

(3) 外国人留学生入試

① 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。

② 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科（工学系） 有機材料システム研究科

【全専攻共通（ものづくり技術経営学専攻を除く。）】

※ ものづくり技術経営学専攻の外国人留学生入試については、本要項とは別に募集要項を作成し入学選抜を行いました。

試験日	試験時間	試験科目
令和元年 8 月 21 日（水）	9：00～	面接及び口頭試問（＊）

＊ 情報科学専攻の面接及び口頭試問は 1 人 30 分程度、電気電子工学専攻の面接及び口頭試問は 1 人 40 分程度、それ以外の専攻の面接及び口頭試問は、1 人 20 分程度行います。

＊ 試験の内容、持参品等については、各専攻にお問合せください。

9 試験場

山形大学工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16

10 受験者心得

1 受験票について

- (1) 試験当日は、**受験票を必ず持参**し、試験場に入場する際に提示してください。
- (2) 試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。
- (3) 試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
- (4) 受験票を紛失した場合は、速やかに山形大学工学部入試担当に申し出てください。
- (5) 受験票は、**入学手続の際に必要**となりますので、可否が確定するまで大切に保管してください。

2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに米沢市に到着するなど、各自の責任において必要な対応をとってください。

3 受験者は、試験開始時刻 30 分前までに試験場に到着してください。

4 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

5 試験開始後 20 分を経過した後は、試験室への入室を認めません。

6 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

7 筆記試験等における留意点について

- (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）、目薬です。
- (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
- (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。

8 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

9 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。

10 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。

11 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。

12 試験当日は、受験者以外は試験場建物内に立ち入ることができません。

13 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。

14 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じて本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報が悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

11 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は、入学願書の出願受付開始 2～3 週間前までに山形大学工学部入試担当（電話(0238)26-3013）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めに相談してください。

12 合格者の発表

令和元年 8月 29 日（木）11 時（予定）

山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します（発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください。）。

なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

13 入学手続

入学手続は次のとおりです。

（1）入学手続期間

令和元年 9月 10 日（火）～ 9月 13 日（金）まで
受付時間は、9 時から 16 時00分までとします。

（2）入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

○入学料 282,000 円

（3）提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

（4）留意事項

入学手続完了者が、令和元年 9月 30 日（月）までに入学を辞退した場合であっても、入学料は返還しません。

14 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料 年額 535,800 円（予定額）

（注）1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

15 その他

（1）提出いただいた入学試験に関する個人情報には次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。

- ① 入学者選抜試験実施のため
- ② 入学手続業務のため
- ③ 入試統計調査のため
- ④ 就学上必要な本学での業務のため
- ⑤ その他大学として必要な業務のため

（2）提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

16 教育方法の特例措置について

近年の科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人研究者、教育者及び技術者の再教育への要請が高まっています。しかし、社会人の多くは、修学期間あるいは地理的制約から通常の方法では再教育の機会を十分に利用できないのが実情です。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人研究者、教育者及び技術者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

本研究科でも、社会人受入れに当たり、教育上特に必要と認められる場合には、教育方法の特例措置を実施しております。

教育方法の特例措置は次のとおりです。

- (1) 通常の間帯（8:50～15:55）以外に、特例措置の間帯（16:05～21:10）に履修できるものです。
- (2) 土曜・日曜日も履修できるものです。
- (3) 必要に応じて夏季・冬季休業期間中も履修できるものです。
- (4) 特例の間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、指導教員の承認を得た上、適用授業科目名、時限、時期等を出願し、授業担当教員の許可を得るものとします。

17 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情によっては、本研究科の標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程修了することができる制度です。この制度の利用や授業料の納入方法等の詳細については、山形大学工学部教育支援担当（電話（0238）26-3015）に照会してください。

18 教育訓練給付制度について

理工学研究科「ものづくり技術経営学専攻」では社会人のビジネススキルアップを目的として、企業や自治体等で活躍している社会人に、マネジメント教育を実施しています。

同専攻は「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定教育訓練講座」の指定を受けており、修了後本人がハローワーク（公共職業安定所）へ申請することで、雇用保険の被保険者期間（原則3年以上）により、最大10万円の教育訓練給付金が支給されます。

制度の詳細については、山形大学工学部教育支援担当（電話（0238）26-3015）へ照会してください。

教育訓練給付制度とは

働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）又は一般被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、本人自らが教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額（上限あり）がハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

19 研究科の概要

理工学研究科（工学系）

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取り扱います。

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)	物質化学工学専攻
	バイオ化学工学専攻
	応用生命システム工学専攻
	情報科学専攻
	電気電子工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

理工学研究科 博士後期課程 (工学系)	物質化学工学専攻
	バイオ工学専攻
	電子情報工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) 「大学院受験生の方」内の以下のページをご覧ください。

○理工学研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2019km/top.htm>

有機材料システム研究科

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取り扱います。

有機材料システム研究科 博士前期課程	有機材料システム専攻
-----------------------	------------

有機材料システム研究科 博士後期課程	有機材料システム専攻
-----------------------	------------

2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) 「大学院受験生の方」内の以下のページをご覧ください。

○有機材料システム研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2019km/top.htm>

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程
（令和元年10月入学）

選 抜 区 分		☐ 一般入試 ☐ 社会人入試 ☐ 外国人留学生入試 (該当区分にチェックしてください。)		受 験 番 号		
				*		
ふ り が な 氏 名				性別	男 ・ 女	
(外国人留学生入試志願者は、漢字若しくはパスポートと同じローマ字で記入。)						
生 年 月 日		昭和・平成 年 月 日 (満 歳) (西暦 年)				
志 願 専 攻 名		専 攻		希望指導教員名		
出身 (在籍) 大 学 等		【大 学】 大学 学部 学科 【大学以外の場合】 昭和・平成・令和 年 月 日 (卒業・卒業見込)				
志 願 者 の 現 住 所		〒 住所 電話 () — — 携帯電話 — —				
保 護 者 の 氏 名 ・ 住 所 (社会人入試を志願する場合は記入不要。)		〒 住所 氏名 電話 — —				
勤 務 先 名 ・ 所 在 地 (社会人入試を志願する場合記入してください。)		会社 (機関名) 〒 住所 電 話 () — —				
履 歴	区 分	年 月 日		事 項		
	学 歴 (大学入学時から記入してください。 外国人留学生入試志願者は、小学校入学時から記入してください。)	・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
	職 歴	・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
		・	・	・		
・		・	・			

1. *印の欄は記入しないでください。
2. 直接記入する場合は、黒のボールペンをを用い必ず本人が記入してください。訂正する場合は、訂正箇所を二重線で消し訂正印を押してください。

令和元年度山形大学大学院
理工学研究科博士前期課程（工学系）
有機材料システム研究科博士前期課程
（令和元年 10 月入学）

写 真 票

受験番号	*
志願専攻名	
氏 名	
写真はり付け欄 (4 cm × 3 cm) ●出願前3か月以内に撮影した上半身、 無帽、正面向きのもの とします。 ●写真の裏面全体この り付けしてください。	

* 印の欄は記入しないでください。

令和元年度山形大学大学院
理工学研究科博士前期課程（工学系）
有機材料システム研究科博士前期課程
（令和元年10月入学）

受 験 票

受験番号	*
志 願 専攻名	
氏 名	

- 1 本票は、**試験当日必ず持参**してください。
- 2 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 3 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 4 本票は、入学手続の際に必要となりますので、可否が確定するまで大切に保管してください。
- 5 本票を紛失したときは、山形大学工学部入試担当へ申し出てください。
- 6 *印の欄は記入しないでください。

【令和元年度大学院〔理工学研究科〕
有機材料システム研究科〕博士前期課程(10月入学)用】
(社会人入試用)

受 験 番 号	*
------------	---

研 究 （ 希 望 ） 計 画 書

令和 年 月 日作成

氏 名

研 究 課 題 (又は研究分野)
研究計画の概要 (1,000 字以内)

*印の欄は記入しないでください。山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

受 験 番 号	*
------------	---

研究（希望）計画書

研究計画の概要（1,000 字以内）

*印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

【令和元年度大学院〔理工学研究科
有機材料システム研究科〕博士前期課程(10月入学)用】
(社会人入試用)

受 験 番 号	*
------------	---

職 務 経 歴 書

令和 年 月 日作成

氏 名

職 歴	勤 務 時 間	勤 務 先	主 な 職 務 内 容

研究計画に関する過去の職務内容（1,000字以内）

研究業績等【論文，報告書（社内報を含む），口頭などの発表があれば，その題名，発表機関，発表年月等を記入】

*印の欄は記入しないでください。山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

入学資格審査願

●＜志願する研究科を○で囲んでください＞

令和元年度山形大学大学院

理 工 学 研 究 科
有機材料システム研究科

 博士前期課程（令和元年 10 月入学）に

出願したいので、同資格の審査をお願いします。

令和 年 月 日

氏名 _____ 印

住所・電話番号
[〒 _____ 電話() —]

志願専攻名
[_____ 専攻]

最終卒業学校名
[_____]

卒業（修了）年月日
[年 月 日 卒業（修了）]

現職等（所属機関・部署・職名等）
[_____ 電話() —]

受験 番号	*
----------	---

令和元年度
山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程
（令和元年 10 月入学）

入学試験出願資格認定審査調書

ふりがな		現職	
氏名		現住所	
生年月日（年齢）	昭和 平成 年 月 日（満 歳）		
志願専攻名	専攻	希望指導教員名	
学歴（高等学校卒業時から記入してください。）			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
職歴			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
過去の職務内容と今後の研究内容			

[注] 外国人留学生入試の入学資格審査を受ける者は、別紙「入学試験出願資格認定審査調書（外国人留学生入試用）」
を使用してください。
* 印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

受験 番号	*
----------	---

令和元年度
山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程
（令和元年 10 月入学）

入学試験出願資格認定審査調書（外国人留学生入試用）

ふりがな		現職	
氏名 （漢字若しくはパスポートと同じローマ字で記入）			
生年月日（年齢）	年 月 日（満 歳）	現住所	
志願専攻名	専攻	希望指導教員名	
学歴（小学校入学時から記入してください。）			
在籍期間		年数	事項
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
年 月 日～ 年 月 日		年 月	
通算		年 月	
職歴			
年 月 日	事項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
過去の職務内容と今後の研究計画			

ラベル票

① 受付簿用

志願研究科・専攻名：☐大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）専攻
☐大学院有機材料システム研究科博士前期課程有機材料システム 専攻
 ●＜志願する研究科にチェックしてください＞

受験番号	フリガナ		性別	出身学校等		
	氏	名		都道府県名	学校名	卒業（見込み）年月
*			男・女		大学 学部 学科	昭和 平成 令和 年 月

注1：都道府県名の欄には，出身学校等のある都道府県名（出身学校が外国の場合は国名）を記入してください。
 2：卒業（見込み）年月の欄には，卒業年月又は卒業見込み年月を記入してください。
 3：*印の欄は記入しないでください。

② 合格通知用

様

電話番号

()

受験番号

*

③ 書類発送用

様

電話番号

()

受験番号

*

④ 書類発送用

様

電話番号

()

受験番号

*

⑤ 書類発送用

様

電話番号

()

受験番号

*

注1：②から⑤はすべて記入してください。
 2：合格通知書及び合格発表後の郵便物を確実に受け取ることのできる郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。
 3：出願後，住所変更した場合は，工学部入試担当に速やかに連絡してください。
 4：*印の欄は記入しないでください。